

# 学び 感じ 成長の軌跡

## リーダーシップ開発プログラム第5期最終報告会



社会で必要とされるリーダーシップを理論と実践から学ぶ「専修リーダーシップ開発プログラム第5期・蒼翼の学舎」(キャリアデザインセンター主催)の最終報告会が12月7日、生田キャンパスで行われた。受講生が講座や体験から得たリーダーシップについて発表した。

同プログラムは2013年度から始まった。今年度は全学部から28人が受講。毎週の講義のほか、企業と協力したテーマ活動では6チームに分かれ、観光市場におけるイベントなどのプロモーション活動、社会貢献を通じた地域活性化への取り組みなど個別の課題に8カ月間挑戦した。報告会のテーマは「理想と現実の狭間で揺れる若者たちの1年」。各チームは「何を学び、何を感ぜ、どう成長したか」をストーリートナリで発表した。夢乃屋チームはインバウンド市場の中、原宿で花魁変身体験を商品化する企画を企画した。実現に向けて個人それぞれがなすべき役割が、後藤美つき(経営)は「人から「ビジネスの共有と役割分担を明確にし、個人の実行力が大切なことを受講。毎週の講義のほかに、企業と協力したテーマ活動では6チームに分かれ、観光市場におけるイベントなどのプロモーション活動、社会貢献を通じた地域活性化への取り組みなど個別の課題に8カ月間挑戦した。報告会のテーマは「理想と現実の狭間で揺れる若者たちの1年」。各チームは「何を学び、何を感ぜ、どう成長したか」をストーリートナリで発表した。夢乃屋チームはインバウンド市場の中、原宿で花魁変身体験を商品化する企画を企画した。実現に向けて個人それぞれがなすべき役割が、後藤美つき(経営)は「人



### STORYチームがワークショップ 川崎市でアイシングクッキー作り

「参加者に楽しんでもらえる場を作りたい」。STORYチームの5人は、ワークショップ「キラキラ輝くアイシングクッキー作り」を12月3日、JR川崎駅直結の大型商業施設「ラゾーナ川崎プラザ」イベントスペースで開いた。写真。受け入れ先はワークショップなどさまざまな体験の販売を行っているSTORY&CO。(東京都千代田区)。イベントの企画したunicoチーム、「キラキラ輝くアイシングクッキー作り」を成功させたSTORYチームがそれぞれの成果と課題について話した。「行動力の大切さを実感した人が多かった。その部分をいろいろな場面で生かして欲しい」と話していた。メインテーマは学生たちの夢を具体化すること。イベントは午前と午後2回で、それぞれ定員10人が参加。専門家の指導を受けながらアイシングクッキーを作った。参加者は色とりどりのペリスティックの砂糖でクッキーを飾り、固まる間に大切な人へのメッセージカードを書いた。学生たちは細やかな心遣いで参加者に声をかけ、和やかなムードの中でイベントを進めた。終了後、5人の学生は「初めての体験を乗り越えたことが自信につながった」と話した。

12月3日には、川崎市宮前区の宮崎こども文化センターで体験会を実施。実際に子どもたちに体験してもらい、改良したものを展示した。クマをモチーフにした全長1.5メートルのぬいぐるみ「ハグまる」が目を引いた。山下清美プロジェクトメンバー8人は、大学生にアンケートをとり、寂しさを感じる瞬間を調査。ぬいぐるみがセンサーで圧力を感知して抱き返すなど、機能を追究していった。

## 情報メディア学会研究発表で最優秀賞

### 文・植村ゼミ生 岡田さん、酒井さん

文学部人文・ジャーナリズム学科の植村八潮ゼミ4年次生2人が、情報メディア学会の秋と春の研究発表で最優秀賞を受賞した。岡田水希さんと酒井未穂さんと、いずれもテーマは卒業論文の課題。二人は受賞をバネに卒論を書き上げた。岡田さんが受賞したのは、11月25日、三重県伊勢市の皇學館大学で開催された情報メディア学会第19回研究会での論文発表会。「公立図書館における雑誌付録の取り扱い―全国調査の結果を見る」

現状と課題」が、五つ単体として資料価値があるのに長期保存する図書館は少ない。オンライン蔵書目録OPAC検索にもほとんど出てこない。図書館として1年間は保存し、利用者の検索要望に応じてほしい」と述べた。「発表の話があり迷っていた時、植村先生から、この機会を逃すなとどんでん背中を押されました。そのおかげです」と笑顔で語る。

酒井さんは、6月24日に横浜市の開東学院大学で開かれた情報メディア学会第16回研究大会で「デジタルテレビのアクセシビリティ・視聴障がい者のテレビ視聴の現状」をポスター発表。5発表中、最優秀ポスター発表賞を受賞した。

「高齢者や障がい者が含むすべての人が自由なく情報を得るためにアクセシビリティは重要だ。視覚障がい者もテレビから多くの情報を得ているが、デジタル放送とその受像機の音声読み上げ対応は十分とはいえない」と課題を挙げた。酒井さんは野口武悟教

## ネット情報プロジェクト成果発表会

チームを組んで共同研究、開発に取り組むネットワーク情報部の3年次必修科目「プロジェクト」の成果発表会が12月16日、生田キャンパスで行われた。今年度は29プロジェクトがポスターや製作物を展示。1、2年次生や高校生ら学内外からの来場者に1年間の活動の成果を説明した。

小林隆プロジェクトは体験型の新しいプロジェクト「アポロボ」が表情豊かにプレイヤーに応じる。望月プロジェクトはハグまるの抱き心地を体験する。男子学生=山下プロジェクト



コントローラーを振り、キャラクターを動かす来場者=小林プロジェクト



「アポロボ」が表情豊かにプレイヤーに応じる=望月プロジェクト



ハグまるの抱き心地を体験する男子学生=山下プロジェクト



酒井さん作成のポスターの前で賞状を手に笑顔の岡田さん、植村教授、酒井さん(左から)